

各 位

会 社 名 HOUSE I 株式会社 代表 者名 代表取締役社長 管 祥紅 (コード番号:5035 東証グロース市場) 問合 せ 先 取締役 兼 執行役員管理本部長 羽入友則 (TEL 03-4346-6600)

子会社等の異動に関するお知らせ

当社は、2024年1月26日開催の取締役会において、以下のとおり、当社の連結子会社である璞華国際科技(武漢)有限公司(以下「璞華国際」といいます。)が、北京璞華互連技術有限公司(以下「北京璞華互連」といいます。)と契約を締結することにより、同社が100%の持ち分を保有する璞華供給鎖(蘇州)有限公司(以下「璞華供給鎖」といいます。)の実質的支配権を取得し、連結財務諸表に関する会計基準等における支配力基準に基づいて璞華供給鎖(蘇州)有限公司を連結子会社化(孫会社化)することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 実質的支配権の取得の理由

2023 年 12 月 21 日の「連結子会社における事業譲受けのお知らせ」でお知らせしたとおり、当社の連結子会社である璞華国際は、璞華科技有限公司より 2024 年 1 月 1 日付で金融情報システム事業を譲り受けました。しかし、日本の法人である当社の子会社である璞華国際が、中国国内で金融情報システム事業を直接手掛けることは、事業推進上の支障が発生する恐れがあるため、2024 年 1 月 29 日付で金融情報システム事業を璞華供給鎖に移管し、併せて同社の持ち分を 100%所有する北京璞華互連と契約を締結することにより、璞華供給鎖の実質的支配権を取得し、璞華供給鎖を連結子会社化することにいたしました。金融情報システム事業は中国国内で外商投資を制限された市場参入対象ではないのですが、潜在的な法的リスクを回避するため、上記のスキームを採用することになりました。

2. 異動する孫会社(璞華供給鎖(蘇州)有限公司)の概要

| 2. 关功/0mg上(公中内相类(MPII) 11数4·1) 6 属文 | | | | | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|-----------------|----------------|-------------------|--|-------------|----------|----------|
| (1) | 名 | | | 称 | 璞華供給鎖(蘇州)有限公司 | | | |
| (1) | 70 | | | | (簡体字では璞华供应链 (苏州) 有限公司) | | | |
| (2) | 所 | / | 在 | 地 | 中国 (江蘇) 自由貿易試験区蘇州片区蘇州工業園区集賢街 88 号 1 #ビ | | | |
| | 121 | 1 | | | ル第4階407室 | | | |
| (3) | 代表 | 長者の後 | え職・ | 氏名 | 法定代表人 李 | ጅ 暁敏 | • | |
| (4) | 事 | 業 | 内 | 容 | サプライチェー | -ンマネ | ジメント | |
| (5) | 資 | 7 | 本 | 金 | 1 人民元(20. 21 円) | | | |
| | | /- | | | 登録資本金 1,000 千人民元(20 百万円) | | | |
| (6) | 設 | 立生 | F 月 | 日 | 2020年1月6日 | | | |
| (7) | (7) 大株主及び持株比率 | | | 北京璞華互連技術有限公司 100% | | | | |
| | | | 資本関係 該当いたしません。 | | | | | |
| (8) | | 上場会社と当該会社との間の関係 | | | 人 的 関 係 該当いたしません。 | | | |
| | _ | | | | 取引関係 | 係 該当いたしません。 | | |
| (9) | (9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態 | | | | | | | |
| | | | 決 | 算期 | 2021年12 | 期 | 2022年12期 | 2023年12期 |
| 連 | 結 | 純 | 資 | 産 | 0 7 | 百万円 | 0 百万円 | 0 百万円 |
| 連 | 結 | 総 | 資 | 産 | 0 1 | 百万円 | 4 百万円 | 0 百万円 |
| 1 株当たり連結純資産 | | | 20 | . 21 円 | 100, 078. 51 円 | 20.21 円 | | |

| 連結売上高 | -百万円(注1) | 18 百万円 | 48 百万円 |
|---------------------------|----------|----------------|-----------------|
| 連結営業利益 | -百万円(注1) | △0 百万円 | △0 百万円 |
| 連結経常利益 | -百万円(注1) | △0 百万円 | △0 百万円 |
| 親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 | -百万円(注1) | 0 百万円 | △0 百万円 |
| 1株当たり連結当期純利 益 (「△」は損失) | -円(注1) | 100, 058. 30 円 | △100, 058. 30 円 |
| 1 株当たり配当金 | -円 | -円 | -円 |

- (注) 1. 設立後、事業開始前でありましたので、「一」となっております。
- ※ 為替レートは20.21円/人民元で換算しております。

3. 実質的支配権を取得するための契約締結の相手先の概要

| 5. 人質的人的信息状態,可能够多人所能的。 1. 人質的人的信息。 1. 人質的人性可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能 | | | | | |
|---|------------------|-------------------------------------|--|--|--|
| (1) | 名 | 北京璞華互連技術有限公司 | | | |
| (T) | | (簡体字では北京璞华互联技术有限公司) | | | |
| (2) | 所 在 地 | 北京市海淀区紫竹院路 98 号北京化工大学西校区教学楼 II 段(科技 | | | |
| (2) | 171 11. 10 | 園 A ビル) 3 階 312 | | | |
| (3) | 代表者の役職・氏名 | 法定代表人 李 暁敏 | | | |
| (4) | 事業内容 | ソフトウェア開発、コンピュータソフトウェアコンサルティング、 | | | |
| (4) | 尹 未 门 召 | 技術の輸入および輸出 | | | |
| (5) 賞 | 資 本 金 | 1 人民元(20. 21 円) | | | |
| | 資 本 金 | 登録資本金 854, 310 千人民元(172 百万円) | | | |
| (6) | 設 立 年 月 日 | 2016年7月28日 | | | |
| (7) | 純 資 産 | △11,590 千人民元(△2百万円) | | | |
| (8) | 総 資 産 | 108,510 千人民元(21 百万円) | | | |
| (9) | 大株主及び持株比率 | 蘇州工業園区佰瑞翔鴻投資管理中心 98.66% | | | |
| (10) | | 資本関係 該当いたしません。 | | | |
| | 上場会社と | 人 的 関 係 該当いたしません。 | | | |
| | 上場会社と 当該会社の関係 | - 取 引 関 係 該当いたしません。 | | | |
| | コッカルの関係 | 関連当事者へ 該当いたします。当社取締役の管祥紅が議決権の | | | |
| | | の 該 当 状 況 79.11%を間接所有しております。 | | | |
| | - | | | | |

- ※ 為替レートは20.21円/人民元で換算しております。
- 4. 取得株式数,取得価額及び取得前後の所有株式の状況 今回の契約に伴う株式の異動及び相手先に支払う費用の発生はありません。

5. 実質的支配権を取得するための契約の概要

璞華国際と北京璞華互連は、①資産運用管理契約、②株式/持分質権設定契約、③株主権利委託契約 ④コールオプション契約、の4つの契約を締結いたします。①により、璞華国際が璞華供給鎖の業務を 実質的に管理することが出来ます。②により、北京璞華互連が有する璞華供給鎖の株式に対して質権を 設定いたします。③により、璞華国際は北京璞華互連より株主権を委託されて、璞華供給鎖の意思決定 を直接行い、また役員を派遣できます。④により、将来璞華供給鎖の株式を直接保有する必要が出てき た場合に、璞華国際が璞華供給鎖の株式を取得できる権利を設定いたします。以上の4つの契約によ り、「連結財務諸表に関する会計基準」に照らして、璞華国際は璞華供給鎖の重要な財務及び営業又は 事業の方針の決定を支配することが可能であり、また意思決定機関を支配していることが推測される 事実が存在するといえることから、実質的支配権を取得しているものと判断しております。

6. 日 程

| (1) | 取締役会決議日 | 2024年1月26日 |
|-----|---------|-----------------|
| (2) | 契約締結 日 | 2024年1月29日 (予定) |

7. 今後の見通し

本件に伴う 2024 年 12 月期の当社連結業績への影響については、今後公表する予定の当社グループの 2024 年 12 月期連結業績予想に含めて開示いたします。

以 上